

2021-22RI 会長:シェカール・メータ ガバナー:水村雅啓 会長:横田康介/幹事:大谷純一 例会日:木曜日
午後 12:30 開会 会場:熊谷ガーデンパレス 編集・発行:クラブ会報委員会 委員長:園部良一

第11例会 第2643回 11月18日(木)

卓話 【天体②】 CST代表 早川修司様

●点 鐘	横田康介会長	●来訪者紹介	小林群司会員
●国歌斉唱	参加者全員	●卓 話【星空の魅力】CST代表	早川 修 司 様
●ロータリーソング/「我等の生業」、 「四つのテスト」	唱和	●謝 辞	横田康介会長
●会長の時間	横田康介会長	●出席状況・ニコニコ報告	宮内和広会員
●幹 事 報 告	大谷純一幹事	●点 鐘	横田康介会長

(本日の司会 野口一信会員)

○点 鐘 横田康介会長



横田康介 会長



○会長の時間

7月1日からスタートしました私の年度も、早三分の一が過ぎました。コロナ禍で休会を余儀なく選ばざる事が多く、会員の皆様にはご迷惑をお掛けしました。今後は感染状況も落ち着いて来た中、楽しい例会の開催を目指して参ります。

今後の予定としましては、メイン事業であります 55 周年の記念事業が、3 か月後に迫っております、ご協力頂けますようお願いいたします。

本日の卓話は 2 度目になりますが、CST 代表の早川様です。宇宙を見渡す中の、銀河・星雲の素晴らしさをお話しいたします。

私は子供の頃から空を見上げ、星空を見るのが好きでした。無限に広がる宇宙、数多の銀河や星雲が存在する。中でも私の一番な星雲です。

☆☆☆ 馬 頭 星 雲 ☆☆☆

星の輝きに彩られ、赤く色づく。(左写真)

今日はその中でも興味深い銀河・星雲のお話を載きます。
お楽しみください。



大谷純一幹事

○幹事報告

皆さん こんにちは！
幹事報告を行います。

今、幹事として気になることは、ちょうど3ヶ月後に迫った55周年記念式典を成功裡のうちに、幕を閉じることができるかどうかということです。

本日夜、代表者による実行委員会が開催され、いよいよ準備スタートとなります。今後、徐々に具体化されて行くにつれ、メンバー皆様にも何らかのご協力依頼が出て来るかと思えます。その節は、何卒快くご協力の程、お願い申し上げます。

みんなで作る 55周年ということで宜しくお願い致します。

それと来週の例会予定ですが、11月25日(木)季のうつろい委員会 担当例会で、8月に開催予定しておりました「お香」の例会となります。こころ穏やかになれるひと時を味わってください。

場所はここガーデンパレスのこの会場となります。

以上です。ありがとうございました。

○来訪者紹介 小林群司会員

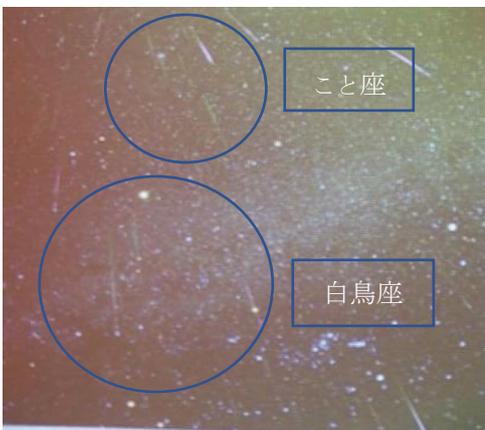
本日の卓話は、2回目となる早川修司様です。今日は【星空の魅力】と題しまして『彗星』や『流星群』のお話を頂けると思います。



○卓話 【星空の魅力】 CST代表 早川修司様



近年、天の川を見ることが出来ないと言うお話を良く耳にします。それは、夜空を見上げることが少なくなっていることにも一因しています。山や海辺に行くと今でも多くの星空を観ることが出来ます。40年前には、行田市内からも天の川がくつきりと観ることが出来ましたが、温暖化の影響やスモッグ等により影響から最近では、綺麗に観ることが出来ません。それでも、雨が降るとその夜には、美しい星空を観ることが出来ます。そして本日の未明には、「射手座流星群」を観ることが出来ます。群馬県の妙義山では、素晴らしく美しい流星を観ることが出来ます。流星が飛び出す中心となる点を『放射線』と呼び、一般的には、放射点のある星座の名前をとって『〇〇座流星群』と呼んでいます。また流れ星は、それぞれ0.01秒程度で消えてしましますが、良く流れ星が消えない内に願い事を3回言うことは絶対に無理ですね！。明日の夕方より皆既月食を98%の確率で観ることが出来ます。その時々々の空の色に皆既月食の色が変化します。光の波長が長いと紅く染まり、月の明るさと混ざり様々に色々と変化します。皆既月食は、明日16時28分から徐々に北東の空で始まり、元の満月になるのは19時50分頃まで観ることが出来ます。



天の川

左の写真は、ボワッと雲のように見えるのが天の川です。夏の夜10時頃、天の川の中に白鳥座そして上外にこと座を観ることが出来ます。天の川は混星(太陽が一杯存在)し、我々の地球はその中の極々小さな惑星の一つです。



浅間山の大爆発



アンタレス

浅間山



このアンドロメダ銀河は、250万光年後に太陽系銀河と衝突しますが、端から端までの距離が10万光年もあり、言ってみればスカスカな状態の銀河との衝突である。



M51と呼ばれる銀河です。この銀河の片隅に太陽系銀河が存在する。



一角獣座の一部のバラ星雲(散光星雲)は、ガスで作られていて、人間の目は精巧に出来ているが、光の蓄積が出来ないので観るためにはカメラを必要とします。



リング星雲。動きながらも今も拡散している。1300 kmから 1500 kmの大きさ。



M1 散光星雲、1054 年大爆発した残りで、赤く見える部分はパルサー



出来たばかりの星雲。
トラペジウム星雲



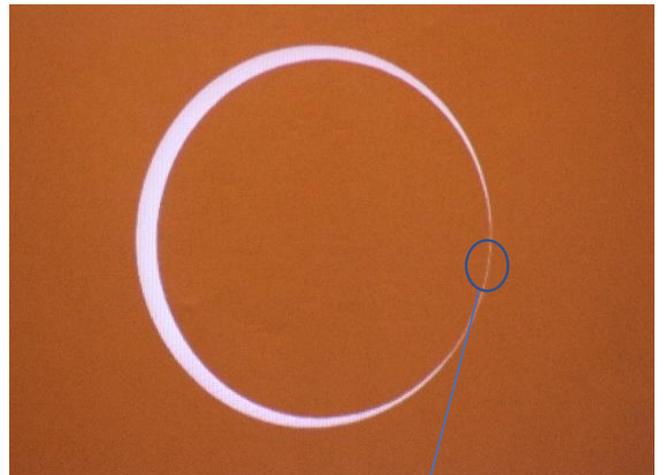
ネオアイズ流星。自分では光らない。
12月に地球と太陽の間を抜ける。



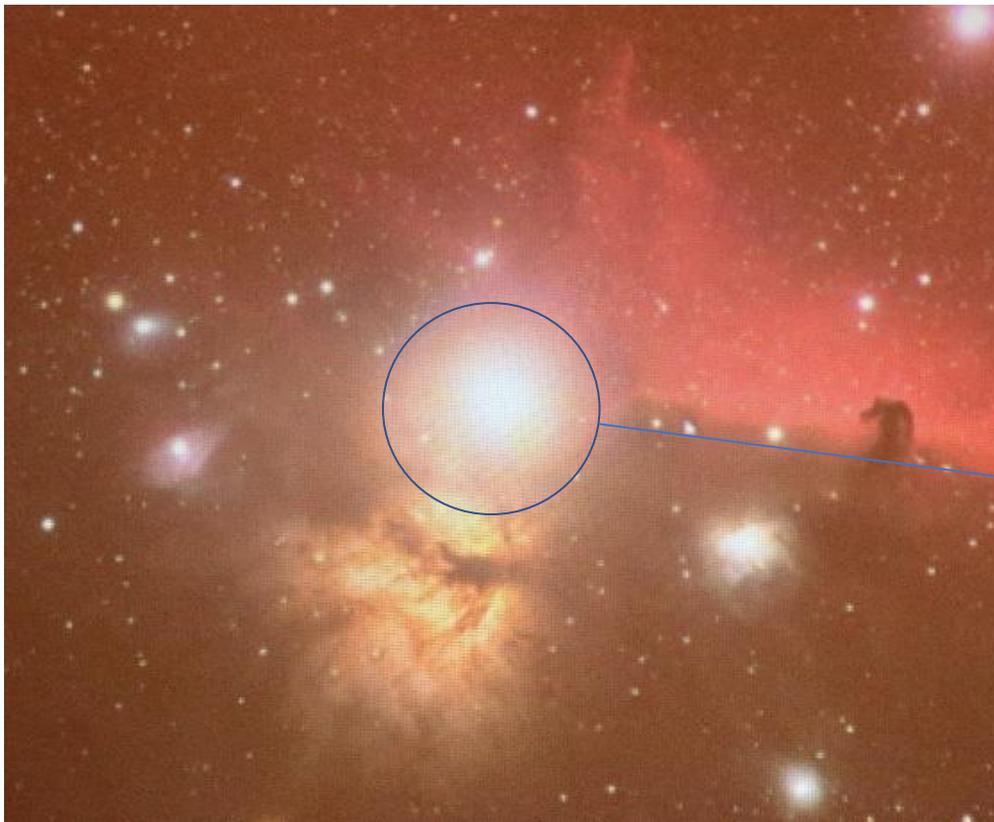
右下に月面、左にUFOのように写るのは、土星の影です。



金星。(上部左の黒点は、太陽)
150年に一度、金星の一部を太陽が通過します。
岐阜中津川、諏訪～名古屋～中津川(道の駅)にて。

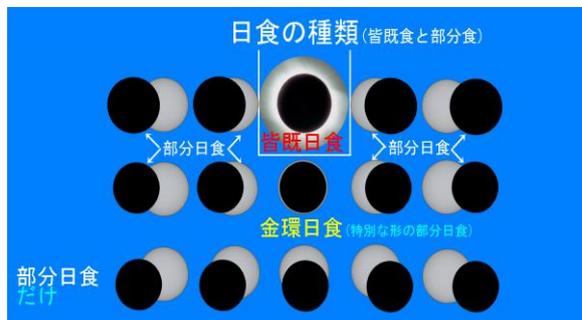


金環日食。
土浦霞ヶ浦にて。
白と黒の部分に月のクレーターの凸凹が映っている。



オリオン座

鳥の羽を拡げた様な形。オリオン座にある真ん中 3 つの星の左下の星が中央に輝く星です。(馬頭星雲): 右に馬の頭のような影?がある。



○出席状況・ニコニコ報告

宮内和広会員



宮内和広会員

【出席報告】

会員数 59 名、出席数 27 名、出席率 45.8%

【にこにこ報告】 5,000円

- 早川さん 本日の卓話楽しみにしています。
- 早川さん 卓話をありがとうございます。
- お世話になります。

..... 横田会長
 大谷幹事
 小山 博会員

○点 鐘

横田康介会長

○【 本日の司会 】 野口一信会員



本日の司会
ご苦労様でした。

○ピアノ演奏 細川愉美さん



いつも演奏を
ありがとうございます。
ございます。

次回の例会は

令和3年11月25日(木)です。

栗原香扇先生の『季のうつろい』(お香)のお話です。

我が国への仏教の伝来とともに香木(お香)が伝わりました。

「季のうつろい」を感じさせる例会

——記憶に残る第11例会(2643回)——

令和3年11月18日(木)

SAA

委員長 福島伸悦 副委員長 坂本研一 柿沼孝枝

七五三

数えで三歳になる子ども、五歳の男の子、七才の女の子を祝い、11月15日にお宮参りをする七五三。霜月(旧暦十一月)の十五日と言え、収穫祭の月の満月の日で、稲刈りを終え、山へ帰る田の神さまを送る頃。田の神さまは祖霊であり、生まれる子を守護した産土神(うぶすながみ)ともいわれ、この日に七五三が行われる意味は、幾重にも深く、いのちを見守る存在への感謝と祈りが込められています。

千歳飴

子の成長を願って、長寿の意味の千年という名前がついた千歳飴。江戸時代に浅草寺で売り出されたのが、始まりだそう。

